

令和 2 年 9 月 5 日

発行元 社会福祉法人博愛会 ルーエハイム

電話番号 372-3811 (代表)

今年も残暑が厳しかったですね。皆さま、いかがお過ごしでしょうか？もうしばらく、熱中症に気を付けてお過ごしくださいませ。

さて、「暑さ寒さも彼岸まで」と言いますが、今回はこの「彼岸」にスポットを当てて、少々雑学を語ってみたいと思います。

彼岸

彼岸とは、日本の雑節の一つで、春分・秋分を中日(なかび)とし、前後の各3日を合わせた各7日間(1年で計14日間)を言います。この期間に行う仏事を彼岸会(ひがんえ)と呼びます。

春分、秋分は昼の長さが同じになる日で、今年の秋分の日は9月22日です。

俗に、中日に先祖に感謝し、残る6日は悟りの境地に達するのに、必要な6つの徳目「六波羅蜜」を1日一つずつ修める日とされています。六波羅蜜については、長くなりますので、ここでは割愛させていただきます。

由来

浄土思想でいう、「極楽浄土」は西方にあり、1年のうちで2度、真西に太陽が沈むこの時に、太陽を礼拝し、遙か彼方の極楽浄土に思いをはせたのが、彼岸の始まりとされています。

歴史

歴史は古く、延暦25年(806年)、日本で初めて仏教行事としての彼岸会が法要されました。この時、太政官府は以降恒例とするようにしていて、現在に伝わっている様です。

供物

日本で彼岸に供え物として作られる、「ぼたもち」と「おはぎ」は同じものです。これらの名は、彼岸の頃に咲く、牡丹(春)と萩(秋)に由来すると言われています。



◎ 在宅介護支援センターでは、高齢者・在宅で介護の必要な方への相談援助を行っております。内容により、市役所・地域包括支援センターなど必要な各連携機関へのご紹介をさせていただきます。ご自宅へ訪問しご相談をうかがうこともできます。料金はかかりません。お困り事、相談事がありましたらお気軽にお電話ください。

在宅介護支援センター ルーエハイム

担当 林・安田・浅岡・田中・谷本

鈴鹿市長法寺町字権現763番地

電話番号 059-372-3811

来所・訪問相談 平日8:45~17:30

電話相談 24時間受け付けております